

太宰府市俳句ポスト第百十六回 入選者

(令和四年八月十日～令和四年十一月八日)

阿比留 初見選

高架行く電車音なく秋の空	小郡市	宮原 勝彦
秋晴にこだまする歌ゆうえん地	京都府	山田 紗奈
秋日和ニコライさんの花展かな	福岡市	前原 由來子
太鼓橋ぬらしてゆきし秋の雨	神奈川県	松川 全
染み多き歳時記捲る敬老の日	筑紫野市	笹倉 裕子
まだ色の残る井筒に秋惜む	福津市	柴田 佳津子
秋風や朝の散歩に綴る句々	福岡市	田中 茂樹
詩心少し頂く菊の前	糟屋郡	郡嶋 眞知子
霊峰はすでに秋めく大鳥居	福岡市	西村 芳山
コスモスの今を盛りの水城跡	太宰府市	西元 治雄
白萩や尼僧仕へし古刹とか	太宰府市	中島 祝乃
扁額の謂れも聞いてホ句の秋	太宰府市	福永 恵美
人波に応へ菊の香濃かりけり	春日市	永利 五十鈴
ばつた飛ぶ修験の山に挑むかに	福岡市	梶原 敏子
古寺の庭黄葉明りにありにけり	福岡市	吉田 文代
菩提子を拾ひ日の斑を手の平に	福岡市	阿部 弘子
うめがえもち食べてほつこり秋の雨	福岡市	江藤 亘輝 二歳
七五三いつばいきれいいわれたよ	大野城市	富田 さくら 七歳
ふうりんはずしい風を音にする	糟屋郡	井本 稀一 十歳
満月の山頂きにのぼりおり	行橋市	廣場 優愛 十三歳